

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第4章近世の日本と世界 ・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕政の改革	11	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 ・江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。	・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第5章 日本の近代化と国際社会 ・近代世界の確立とアジア ・開国と幕府政治の終わり ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・近代の産業と文化の発展	24	・欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。 ・近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。 ・社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたことを理解する。 ・幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。 ・新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなど、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第三部日本のさまざまな地域 第一章身近な地域の調査	2	調査テーマを決めよう、調査方法を考えよう、野外調査を実行しよう、調査を深めて結果を発表しようの手順と手法を基に、身近な地域の調査を捉えさせる。	地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に考察している。多面的・多角的に調査、考察している。	対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。
第三部日本のさまざまな地域 第二章日本の地域的特色	11	山がちな日本の地形、川がつくる地形と海岸や海洋の特色、日本の気候、日本のさまざまな自然災害、自然災害に対する備え、日本の人口、日本の資源・エネルギーと電力、日本の農業・林業・漁業とその変化、日本の商業・サービス業、日本の交通網・通信網、さまざまな地域区分から、日本の地域的特色をとらえさせる。	日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図などを、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。

第3章 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国、四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	42	・日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえさせる。	・日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち、それらを意欲的に追究しようとしている。
第4章 地域の在り方	5	・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けるようにする。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解できる。 (3) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。